

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	フラストレーションが創るスピントクスチャ
研究代表者	川村 光 (大阪大学・理学研究科・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>応募者が長年にわたって研究をリードしてきたフラストレート磁性体特有の自由度であるスピントクスチャ、特にスカーミオンを実験的に検出し、その性質を明らかにしようとする意欲的な計画である。中性子散乱を主体とする多彩な実験手法により多角的な視点からのアプローチであり、高い水準の成果が期待される。各種のプロジェクトを通じた実績を十分積んでおり、実施態勢に不安はない。目標達成が当該テーマを超えた幅広い分野に与える影響について、より具体的な展望を持って研究の実施に当たることにより、本研究がより一層進展するものと思われる。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当であると判断した。</p>